
RIP-Comic
フルカラー
アマヌレ
COMIC
Amanure
Vol.3


RIP-Comic
フルカラー
欲求不満の人妻を
性処理ドレイ化！
団長の寝取りセックス







この電話で
茂則は何かを
悟っただろう・・
しかし奴らの
浮気は
改善することは
無かった・・・




そんな事で
いまだに俺は
真梨さんを
抱き続けていた・・・

いや・・・
それどころか


くちゅくちゅ
くちゅっ♡
くちゅぷっ♡
あっ♪
ああんっ♪
はっはっ…
やぁぁんン…
回数を重ねるうちに
お互いに
愛情が芽生え始め…
気持ちいいかい？
真梨さん…
メリあぁぁ…
ドクン…♡
はい♥
宗治さん…
まるで夫婦の
ようなセックスを
していたのだ！


しかしこれでは
物事に
ケジメがつかない


そこで俺は
ある作戦を
結構することにした


真梨さん
久しぶりだね！
一緒に
食事だなんてっ！
・・・そうね


でも急に
どうしちゃったの？
まさか
私たちに重大発表が
あるとか？
ビビビビィ〜〜〜ッ


明海！
覚悟しろよ？
ゴオ
へ？
ばっ
きゃあっ!!

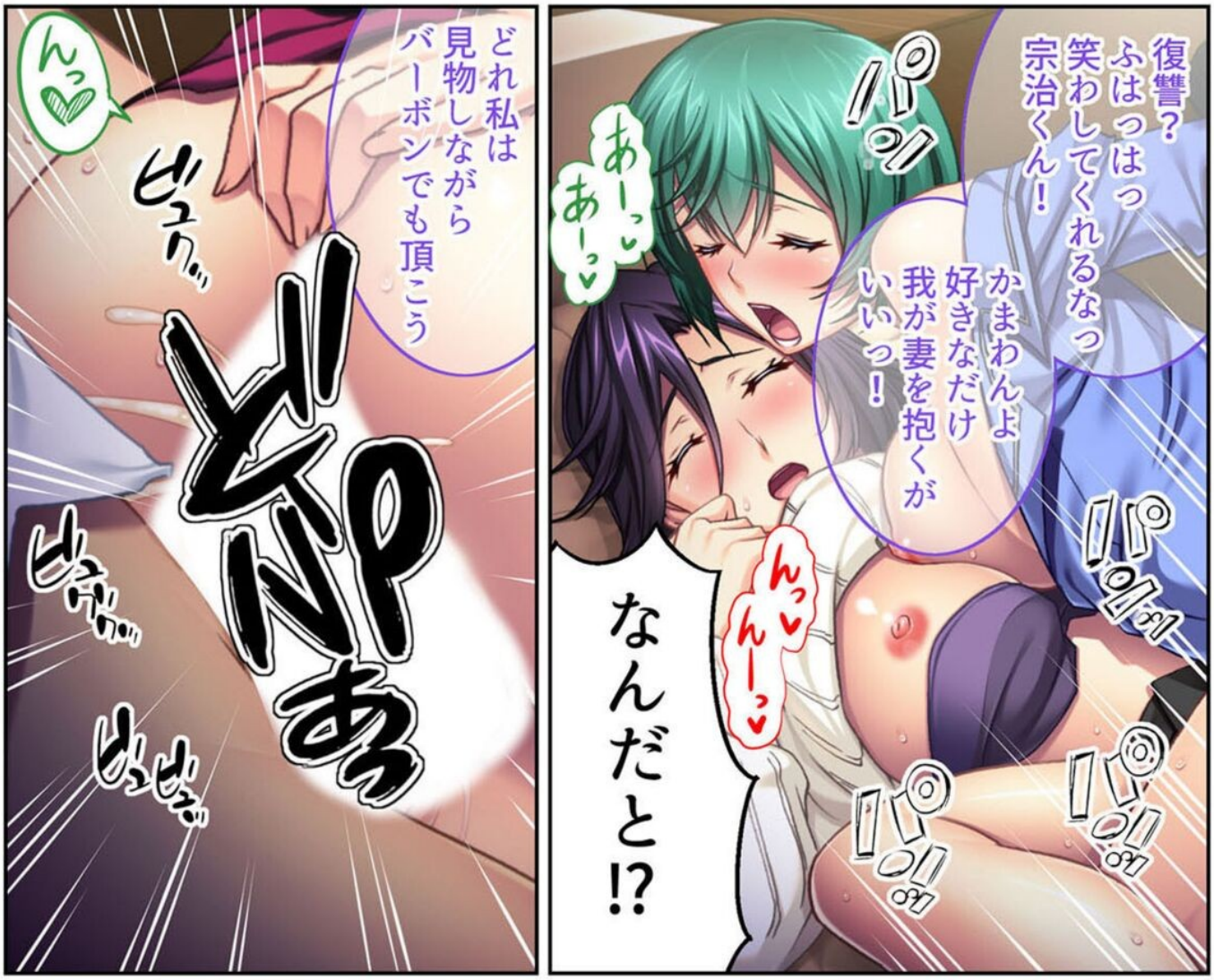

ちょっと！
何するのよ
真梨さんの前で！
うるさい！
これは復讐だ！
くうんっ！
ズプッ
ズプッ
スチュ


お前浮気
してただろ!?
えっ・・・
それは
してただろっ！
ひぎイッ♥


何とか言え
おらぁ!!
あああぁっーー!!


ガチャ
ただいまぁ・
ヒック・・・


真梨いるかぁ？って…
お前ら一体何やってんだ!?
んっんっ
はーっはーっ…
ズンッ
ズンッ
ズンッ


復讐？
ふはっはっ
笑わしてくれるなっ
宗治くん！
かまわんよ
好きなだけ
我が妻を抱くが
いいっ！
パン!!
パン!!
パン!!
パン!!
あーっ♡
あーっ♡
んっ♡
んーっ♡
なんだと!?
どれ私は
見物しながら
バーボンでも頂こう
んっ♡
ビュッ
ビュッ
ビュッ


チクショウ！
チクショウッ!!
お前には嫉妬という
言葉は無い
というのかぁぁっ！
すかした顔
しやがって！


私もう
だめぇ・・・
またイクッ・・・
んはぁ・・・
私もよぉ・・・
あぁぁンっ!!

考えて見れば
当たり前だ・・・
平気で寝とる奴に
同じことをしても
ショックを受ける
ハズが無い・・・

俺の復讐は
終わった・・・




俺達だけ
ずっと悩みっぱなし
だったなんて・・・
そうですね・・・
でも私・・宗治さんと
こういう関係に
なったのは
今では良かったと
思ってますよ？


ミイラ取りがミイラに・・・
と言うべきか・・・
俺たちもまた離れられない関係になっていた
はっアン・
あっあっ♥
ズボッ
ズボッ
ズボッ
私知らなかった宗治さんとこんなに・・・
あ
あ
あ
体の相性が良いなんてっ！


いけない事なのに体が求めてしまうのぉ！
ズボッ
ズボッ
ズボッ
ズボッ
あっあああっ♪


傷ついた者同士
引かれ合うのかもな・・・んんっ
あ…ぁあぁ♥
ドピュッ
だかこれからどうする？
それは・・・
私に考えがあります・・・
はぁ…っ
ボヘェ…


その後
真梨は茂則に
事情を全て話…
茂則の家に
皆で住む
ことになった

# 4人の…夫婦として！


あっあぁん
凄いイィん…
ぬちゃ
ぬちゃ
ぬちゃ
ぬちゃ
～END～


初挿入は4P!?
狙われたウブでエッチな処女JK
～背徳乱交SEXでヴァージン喪失～
RIP-Comic
フルカラー


はぁ～
はあっ♡
ふふ
私の指だけで
ここまで
気持ちよく
なるなんて
このあと
まだ残ってるのに
いつまでそこに
いるつもり？
入ってきたら？
ちっ
バレてたか
へへ……
さすが
香奈恵さんだ……
茉希
まだ難しいことを
考えて
いそうだもの
そんな時は
セックスして
考えないように
するのが一番でしょ


ああ
今だけな
それで
いいんだよ
香奈恵さんも
そうなんだからさ
んっんっ……
んぅんっ
んぐ……
んんっ……
ぱんっ
じゅぷっ
ぱんっ


トロトロでいい締まりだ
ああ気持ちいいぜ
こっちもだ初物はやっぱいいな
じゅる
じゅっ


はぁ……茉希の口に出入りしてる……
なんていやらしいの
じゅっ
じゅるっ


……んっんんんっ！
分かってるわこれ以上手だしはさせない
快楽で難しい頭をリセットさせればいいの
じゅぷっ
じゅっ


ひくっ
なにも考えられなくなるくらい気持ちよくしてやるよ
安心して俺達に任せておきな
ズブッ
ぐぐ
じゅぷっ
くぅ……んうっ んっ……ぷぁっ……
ダダメ……イクッ……


茉希快楽に身を委ねなさい
安心しなさい誰もあなたを悪く言ったりしないわ


んんっ んぢゅ……
ぢゅるうううう……
パンッ
ずちゅる
ふむぅ んんうっ……
んんんっ……
パーンッ
いい
吸いつきだ
もっとか？
もっとだよな
よおし
ふふっ
おいしい？
茉希
たぷーん
んんんんんんん
んんんんんんっ……！
びくっ
びくっ


ここんなの
どうってことない……
き 気持ちよくも
ないし……
あふ
じゅぷっ
じゅぷっ
もうやめてよ……
おぶっ ふむぅんんっ！
それじゃあもっと
気持ちよく
してやらないとな
ぶるっ
はぁ はぁん……
あんっ！
あぁんっ！
ぷぁ……
待って……
わ 私……
んぐうっ……
気持ちよく
ないんだろ？
たっぷりと
気持ちよく
してやるからさっ
んじゅ
いい顔してるわ
茉希
私も感じて
きちゃうくらい


あぁあぁ……
あぁぁんっ！
ぱんっ
じゅぷっ
気持ちよさそうね
茉希
どう？
よけいなこと
考えないでする
セックスのお味は？
ぱんっ
くぅう……さすが
若いと締まりが
違うな……
たまんねぇ……
俺のモノが
飲み込まれるっ……
ぐっぷ
ぐっぷ
ズブッ
ズブッ
あんっ！
んぢゅるぅう……
んっんんっ！


中はダメよ？
ちゃんと外に
出してあげてね
わ 分かってます
ズッ
ズッ
くぅ……
くそぉ
ぶちまけてぇ……
気持ちいい
んんんんんん
んんんんんん……
ビュッ
こんなの
違うのに
芳貴 ごめん
でも今だけ
今だけだから


ギイ
なんだろう
なんか寒い……
んん……
なっ!?
ようやく目覚ましたか
やっぱお前としたくってよ来ちまったぜ
あの時の……！
い……嫌っ
ギュッ
誰か助けて……
お義母さん……
ピトッ


まったく……
しょうがない男ね
無理矢理
するのは
ダメだって
言ったでしょう？
カチッ
ズッ
そんなに
したいなら
私がして
あげるわよ
ぐがっ!?
やめてくれ！
尻が……くうっ
ふふっ
なに情けない声を
出しているのよ
まだ入れた
だけじゃない
ラ
グッ
ギシ


あ
うがっ
動かないで
くれっ……
頼むっ
ギシ
あ
ダメよ
私の茉希を
襲った罰は
しっかり受けて
もらうわ
あ


ゴーッ
ぐおっ やめ……
っ……うう……
ああっ
あなたのそこ
勃起した
ままじゃない
実は気持ち
いいんでしょう？


ガク
ガク
ぐうっ……
ああっ
やめてくれ……
本当に俺が
悪かったから……


ああっ 助け……
っ……うう……
ああっ ああっ！
ブル
ブル
なんで私
こんな奴のことが
怖かったんだろう……


ひぎっ!?
あ
そんなっ
なんでまた
動き出して……


まずは
1回ね
あなたには
徹底的に罰を
与えてあげるわ 茉希
こいつの両手を
捕まえて


はうっ
もう
やめてくれ……
フル
くうっ うう……
ああっ
フル
まだまだよ
干からびるまで
イキなさい
フウ
かはっ……
もうやめ……
フウ




はひいいっ……
たす……
助け……
ふんっ
ずっ
おほおおおおっ！

# 卑猥な町内会の裏事情

# ハメられた団地妻たち



RIP-Comic フルカラー


そ、そうよ……。
夜にゴミを捨てたのは私……！
そのバ●ブも……わたしっ…
私のよぉおおお


どうして私が……こんなことを……
いかがです？　私のもの、気持ちいいですか？
ズプ
ズプ
ズプ
んあぁっ、
ズンッ
ご主人のものと、私のものと、どちらがいいですか？
ああぁ…
ユサ…
ユサ…
パン
パン
い、いいっ……会長の、すごくいいっ
次は上のお口で奉仕しましょうね
ペロ
ペロ
ペロ
会長の……ペ●ス……っ　どうしてっ…こんな忌々しいのに……！

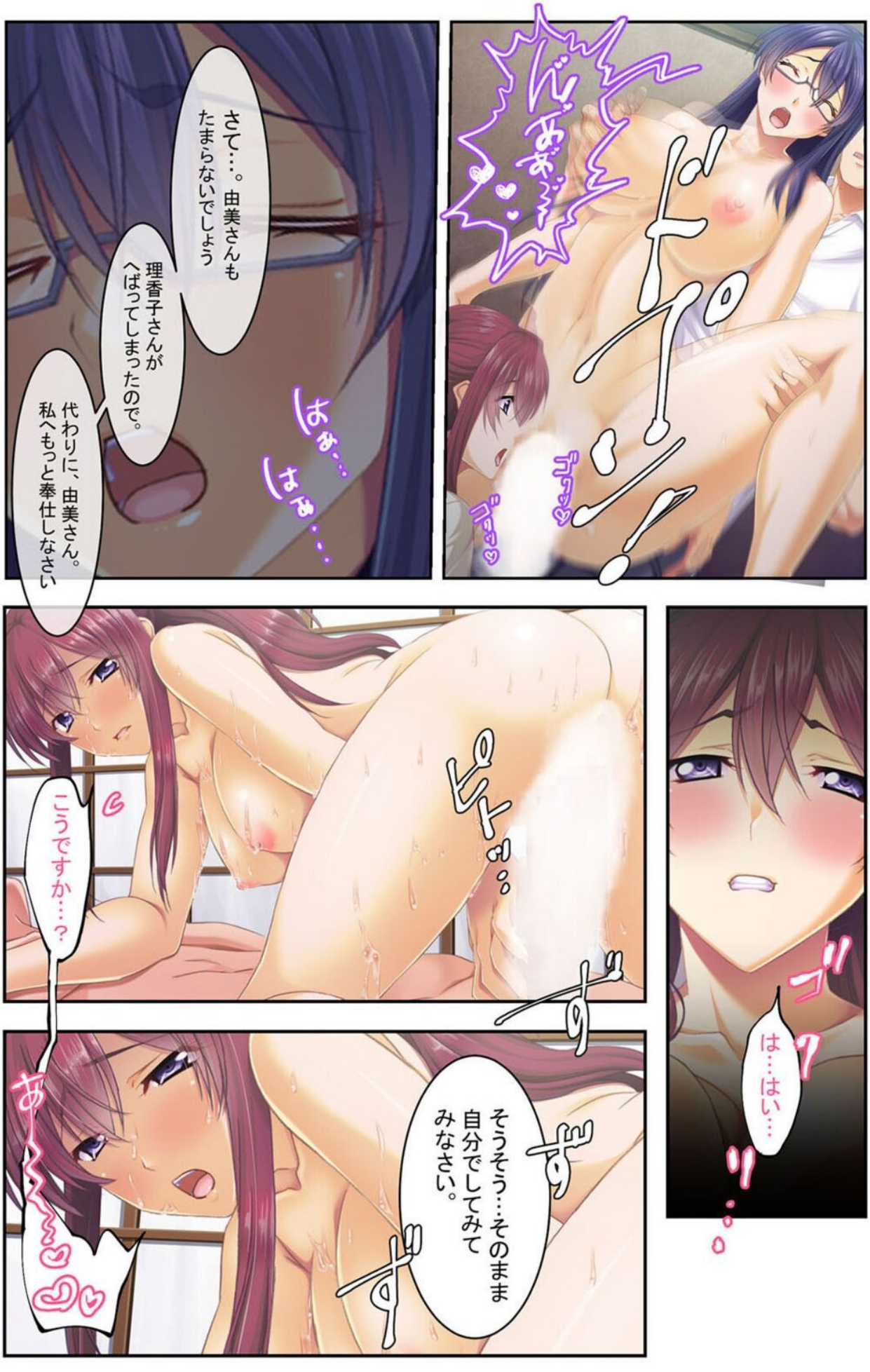

嬉しいですな。
私のことを嫌い抜いていた理香子さんに、
こんな風に口づけしてもらうなんて
ぴちゃ。
ぴちゃ。
さあ、由美さんこっちへ
いらっしゃい。
んぷっ…？！


は、はい…
んんんっ…
ぬち。
ぬち。


これはこれは…大絶景
ぬぁ…っ
あっ…
ぶるるっ
ぶるっ
ぶるっ
次はこうして
やりましょうか。
ああっ？！


んあぁ……あぁぁ……
由美さん……
そんなに近くから…
すごい……。
理香子さんのあそこが、
こんなことになるなんて…
由美さん、理香子さんの
あそこを舐めてあげてください。
理香子さん……。
だめっ…
だめっ…！
いやらしい事を
する私を…
…許して…
あぁぁ…っ


ごめんなはい……。れも、わらひ……
会長さんには逆らへなひから……
パン。
パン。
パン。
パン。
はぁ
はぁ
んあぁ……あぁ
あぁ…理香子さん…
…あ…い…♡
あんっ…。だめ…
パン。
パン。
パン。
パン。


ぐぢゅぐぢゅ
ゴクッ
ゴクッ
さて…。由美さんもたまらないでしょう
理香子さんがへばってしまったので。
代わりに、由美さん。私へもっと奉仕しなさい
はぁ…
はぁ…
ゴクッ
は…はい…
ピトッ…
こうですか…？
すっ
すっ
そうそう…そのまま自分でしてみてみなさい。
あ～～～


聞き分けが良いですね。
…奥さんが気をやる前に私を射●させることができたらあの映像を消しても良いですよ…
そんなっ…無茶です、
こんな…
こんなのおぉっ…！
ああぁ……
私、感じちゃってる……
あなた…ごめんなさい
私……わたし……
感じちゃっているの……んあぁ、あぁぁっ


ドキドキ
おやおや…せっかくのチャンスをみすみす逃してしまうとは。理香子さんもですが、困った奥様方ですねぇ。
お二人まとめてお仕置きして差し上げましょう
……ああぁ…あぁぁあっ！
由美さん…
むにゃっ
あにゃっ
見ないで……。こんな私を見ないで…
いかがですか、由美さん。気持ちいいですか？
お答え…できません…。んう……んんうう
では、由美さんのあそこにうかがうまでです
きゃうぅ…！んあ…！あ？！


んんっ…
んんぅぅ…！
あっ…理香子さん…
ずるいです…っ！
そ、そんなこと…っ
ふふっ…
ようやく素直に
なってきましたね…？
あっ…
こすれて…！
だめっ…
んあぁぁあ！


ギッ
ズボッ
ズンッ
ズボッ
ズボッ
ううっ…そろそろ限界が…！
会長の……腰がとろけるくらい…気持ちいい…！
ギッ
由美さんっ…！
ギッ
ギッ
理香子さんっ一緒に…！
ギッ
ギッ
んおぉぉ♡♡♡
ビクビク
ビクビク




悔しさと諦め――

今まで以上の快楽を
味わわされることへの期待と、
恥辱を与えられることへの不安――

清楚可憐な若妻と知的な美人妻は
唖然としたままであった――


そして…。
夜風が気持ちいいですね。
よく晴れていて、星がきれいです
美人妻達の日常生活は


さて、どちらから先にしてあげましょうか……？


この男のものへと


支配されてしまったのである――


嫌がるナースにハメ放題！
性欲処理専門クリニック
RIP-Comic
フルカラー


だっ駄目です！
んはっ
早瀬…
お前は突かれたいのか？
突かれたくないのか？
ハッキリしろ！
抜かないで…
大竹先生ェェ…！
動いてェェ…！
お願いしますッ！
キュン
パ
キュン
パ
いいのか？
このままでは
快楽負けし
大嫌いな私に心も
奪われるのだぞ
もうとっくに快楽
負けしています！
先生のいやらしさに
負けました…ッ！
今までしてきた
セッ●スの中でッ！
大竹先生に
犯されるのが一番いいッ！
気持ちいいんですウウ…ッ!!
はぁぁ～……！
早瀬ぇぇ～…
私の早瀬那実～…っっ!!
パ
はぁん
あぁ
あぁ
あん


はぁ
はぁ
せんせぇ…
私もう…
先生に折檻されて
今までの考え方を
反省しました…
はぁん
反省…？
私も大竹先生も…
お互いを嫌うほど
強く意識し合って
いたのは事実ですが…
あ、
私は夫よりも
大竹先生と一緒に居る
時間の方が遥かに長いし…
はぁ
だから…
その
これを機に…
大嫌いという
感情が正反対に
なってしまえば…
いいかな…と
まぁ良かろう…
ではこのまま
もう一回するか？
あ
ぐぷぅ
ぢゅぽ
ぢゅぽ
だぁーん
大竹先生の
都合が宜しければ…
——場所を変えるぞ


ふう
はぁ
はぁ
何ですか？
溜息なんか吐いて…
はぁ
はぁ
いや
お前の乳房が余りにも
甘美でいやらしいものだから
思わず溜息が出てしまった
ぴの
ぷにゅ
たゆん
ぷにゅ
ぴの
ぷにゅ
先生…
あふぅ…
手先がいやらしい…
股座まで
モジモジさせおって…
フフッ
私に劣らず
いやらしい女だ
ぴぁ
はぁ
ヒクッ
言わないでください…
大竹先生のペ●ス…
これだけ長くて太ければ…
ぴぁ
ゴクン
もはや遠慮することは
ないのだぞ
私のペ●スを自らの意思で
膣穴の中に挿し込めばい
はう
ぎゅむ
むに
むに
は…
はい


んはぁあ～…！
んふぅう～～……！
はぁ～
すぅ
ぐぅん
ぐぅん
すぅ
すぶぷ
肉欲に弱い雌犬めッ！
ひゃああんッ!?
大竹先生エエ…！
ああああっ
どうだ
この慢性的な快感は
病み付きになるだろ
はっはい…
もうセッ●スが
やめられなくなっちゃう…
な～
な～
ぁ～


私ッ！本当は…！
夫に激しく愛されたかった！
愛を交わした夫のペ●スで！
激しく掻き回されたかったぁあ…ッ！
でもッ！お互いに忙しいからッ！
だったら夫から私に会いに
来ればいいのにいいッ！
あぁん
あっ
ビク
ビク
ビク
ビク
ビク
ビク
もしこうなることが分かっていたらッ！
私と結婚しなければ良かったのよッ！
私に下手な夢を見させた
からいけないのよオオ――ッ!!

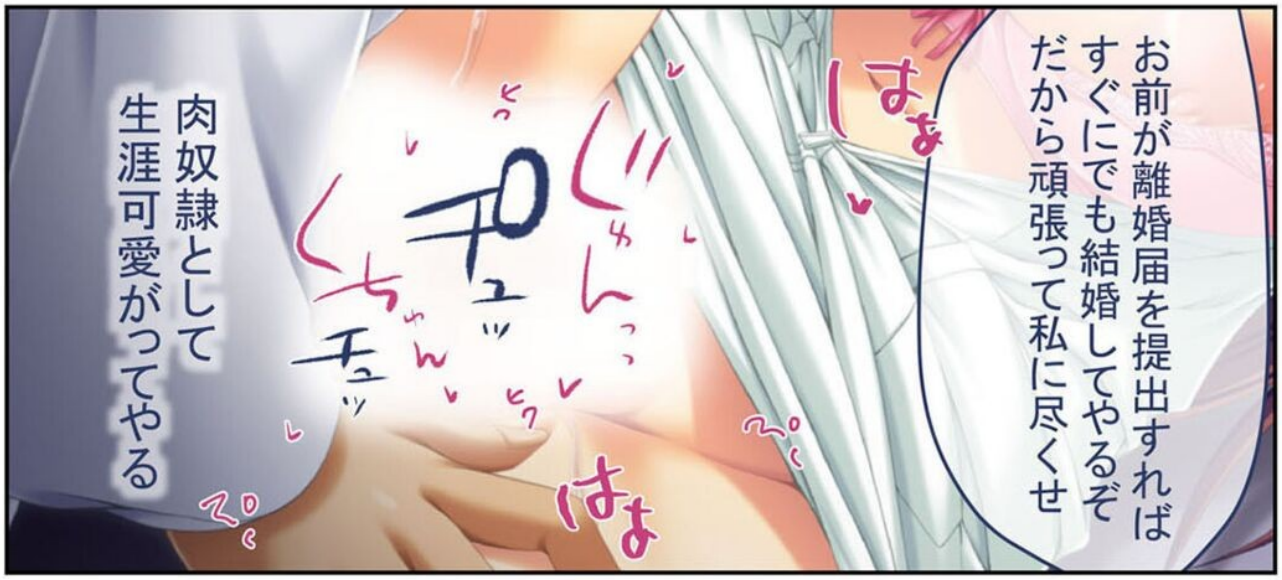

そうだろうと思ったぞ！
本当はコレが
欲しかったんだろッ！
このぶっとくて
荒々しいペ●スがッ！
ズブン
そうッ！そうなんですッ！
私ッ！本当はこれが欲しかったッ！
このぶっとくて勇ましい
ペ●スが欲しかったのオオ…ッ！
あぁん♥
ペ●スウウッ！
ペ●スッ！ペ●スッ！
ペ●スウウウウウウッ！
私のペ●スと
旦那のペ●ス！
どっちが気持ちいい!?
ズボッ
ズボッ
ズボッ
あぁあんっ♥
大竹先生の
ペ●スがいいッ！
先生の硬くて
力強いペ●スッ！
もっとオ…ッ！
もっとグチュグチュに
掻き回してエエ…ッ!!
もっとコネコネしてエエ…ッ!!
あぁんっ♥


どんどん狂え！
私の肉棒中毒に
なっていくが良い！
ふああッ!?イクッ！
またイっちゃうッ！
また大竹先生のいやらしい
ペ●スでイっちゃいますッ！
イくうううう
ぬふうう…ッ！


精子いい…ッ！
精子出してくださぁいッ！
大竹先生のヌルヌルな
気持ちいいエキスが欲しいのオッ！
まだだッ！
お前を快楽地獄に
堕とし込んでやるッ！
毎日お前を快楽地獄へ
道連れにしてやるッ！
快楽地獄に堕ちたいッ！
気持ち良くて
狂っちゃった方が！
今よりも絶対にいいッ!!

早瀬と関係を持つようになってから――
早くも3週間が経過していた










ぬはぁぁ～～…
早瀬…気持ちいいぞォ…
はぁ
はぁ
もう止まらないッ！
止まりませんッ！
腰が勝手に動いちゃいますッ！
はぁぁんっ
仕方ない奴だ
肉欲狂いのメス犬め


だってエエ…！
だってセッ●スッ！
セッ●スなん
だものオオ…ッ！
この時ばかりは！
あっ
はぁ
はっ
お前は本当に憎可愛い奴だな
あっ


せんせえぇ～…
あんッ！
激しく突いてッ！
はぁっ
ズプッ
ズプッ
ズプッ
突いてッ！
気持ちいいのオオ…ッ！
はぁ
もう我慢
出来ない！
ぐぽっ
ぐぽっ
キュン
キュン
ちゃん
ちゃん
はぁ
はぁ
イっちゃうッ！
思い切り出すぞッ！
ぐぐぐぐっ
ビクン
ビクン
ビクン
ズブブブブ
はぁ
あぁぁぁぁぁんっ♥
身体中がメチャクチャに
なっちゃあぁうッ！


ひゃあああああああああッ！
あぁんっ
あぁっ
ブルルッ！
ビュルルル


そして今晩の那実は
始めて乱交を経験する
くぅ…！那実ッ！
もう出すぞッ！
私もだ！
ハァ！ハァ！
那実ちゃんッ！
出すからねッ！
なっ那実ちゃぁぁんん……！
ぶはぁぁッ！
先生エエ…ッ！
やっぱり私は
どんな男性よりも！
大竹先生がいい！
この世で一番
憎たらしい貴方がいないと！
もう生きている
心地がしないのオオ…ッ！


孕ませ痴漢電車
ナマイキ人妻を性処理ドレイ化！
RIP-Comic
フルカラー



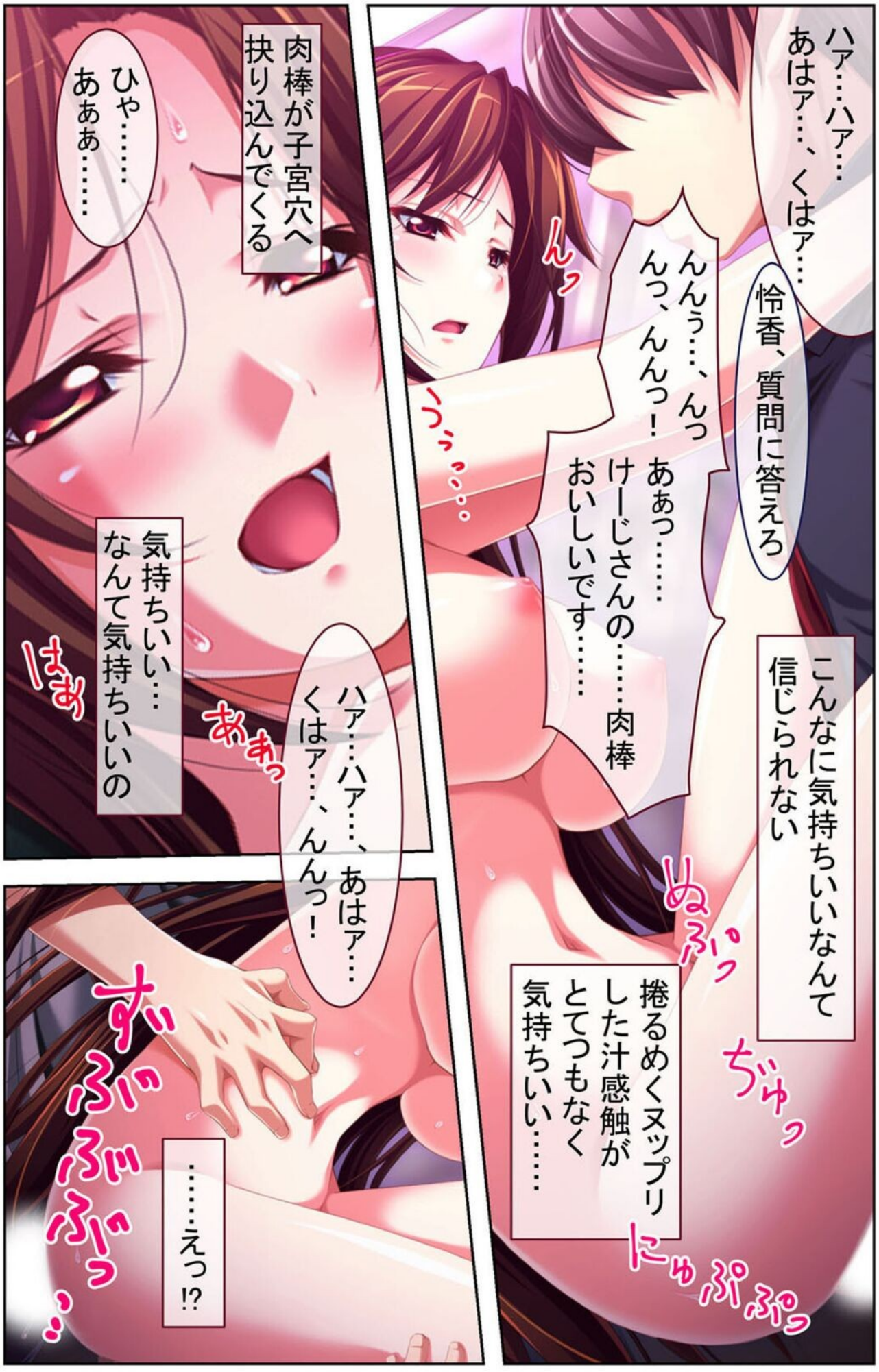

さっきの人たちは啓司さんの仲間

でも新しい乗客も増え先程とは状況が違う

なのに……私達は私は……

どうだ俺の肉棒はうまいか？

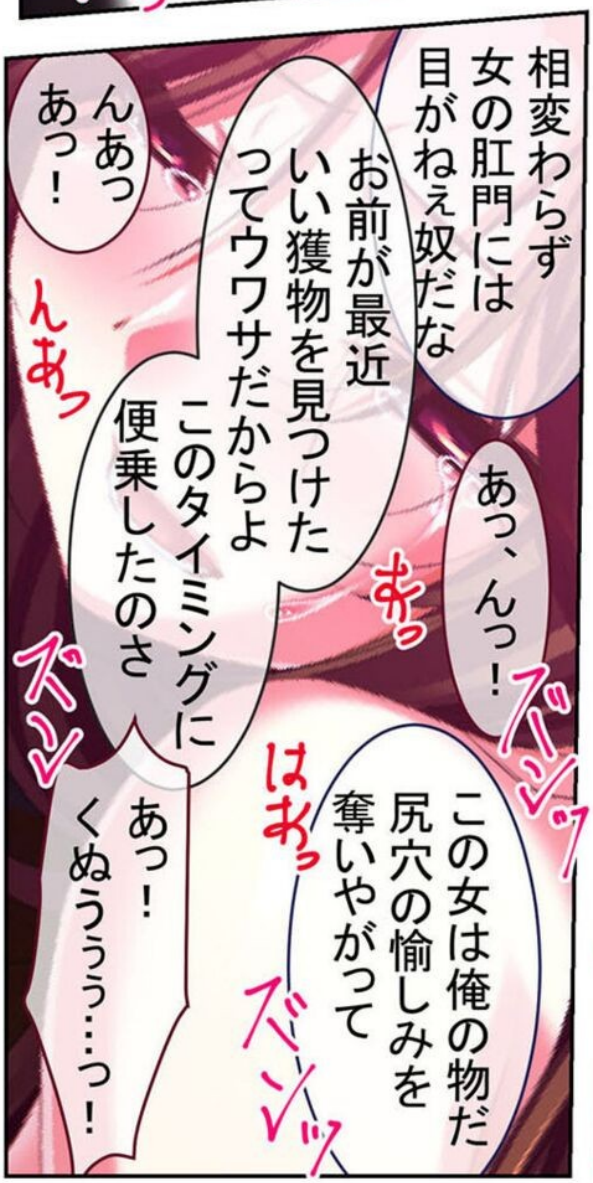



ハァ…ハァ…
あはァ…、くはァ…
怜香、質問に答えろ
んんぅ…、んっ
んっ、んんっ！ あぁっ……
けーじさんの……肉棒
おいしいです……
こんなに気持ちいいなんて
信じられない
ぬぷっ
ちゅっ
にゅぷぷっ
捲るめくヌップリ
した汁感触が
とてつもなく
気持ちいい……
んっ
うっ
肉棒が子宮穴へ
抉り込んでくる
ひゃ……
あぁあ……
気持ちいい…
なんて気持ちいいの
はあ
あぁっ
ハァ…ハァ…、あはァ…
くはァ…、んんっ！
……えっ!?
ずぶぶぶぶっ


ひっ！？　ひいい…っ！
やぁッ!?誰ッ!?
騒ぐな
我慢しろ
ぬふぅ――…
これは強烈な
窄まり…たまらん！
ちゅぷっ
ぐぷっ
ずんっ
にゅぷぷぷっ…
ぬぷっ
ずんっ
くぷっ


くふぅ！
んぬぅ！
啓司さんの肉棒と
見知らぬ
男性の肉棒が……
うぅッ！
ズズッ
ズンッ


私の胎内で
ぶつかり
合ってる……！
ひいいっ！
あっ、あっ、あんっ！
んっ！　んっ！
ズププッ
じゅぷっ…


相変わらず
女の肛門には
目がねぇ奴だな
お前が最近
いい獲物を見つけた
ってウワサだからよ
このタイミングに
便乗したのさ
あっ！
くぬうぅぅ…っ！
あっ、んっ！
この女は俺の物だ
尻穴の愉しみを
奪いやがって
あっ！
あっ！
んあっ
ズンッ
はあっ
ズンッ
んあっ


実に身勝手で無情な肉連結
私の思考が破壊されていく……
ぁ！　んぬぅ！
うぅ……ッ！
んあっ、あっ！
あぁっ！
ズンッ
ズンッ
ぢゅぶっっ
あっ
あぁっ
それにしてもスゲェ絞めつけだぜ
こりゃあ間違い無く肛門は処女だったな
ぬぽぽっ
じゅぷっっ
……それは違う
一度だけ忠弘さんとしたことがある
あっ！！
ぁぁ

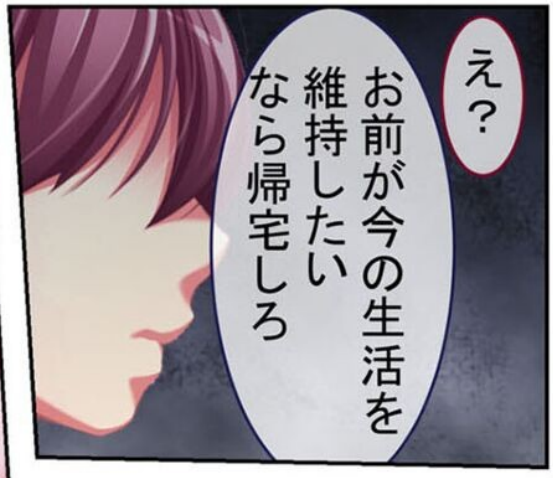

けれど……こんなすごいのは初めて……
この状況がどうでも良くなるくらい……
あぁっ
ひっ
へヘッ！いいケツ穴だぜェ！
だいぶザラザラが無くなってきたぞ
あっ！くぬぅぅぅ…っ！
じゅぽっ
じゅぷっ
ぬぷぷっ
こりゃあ名器だな！
きもちいい……快感で押しつぶされそう……！
ぢゅぷんっ
にゅぷっ


羨ましいぜ
いいケツ
してやがる！
あッ
んはァ！
こっちの
絞めつけ具合も
スゲエぞ！
くうぅ…！
あッ！
当然でしょ…
だって…私ッ！
もう我慢出来ない
のオオ――――…ッ！
ぬふうぅ――…ッ！！
うぅッ！
ひゃあああアア…!?
やッ！
ビュルルルッ!!
いやぁあよオ――…ッ!!
いやぁあ……
両方から
駆け登ってくるぅ…ッ！
そんなアア……ッ!!
お腹の中で精液
ぐるるるぅぅ…って
渦巻いているぅ……！
どぴゅるるるっ
どぴゅっ
だくっ
だくっ
びゅるっ
びくっ
びくっ


ハァァ――…ッ！
二人の男根を『ギュウウ…！』と
『もうやめてエエ――…！』と搾り取ることを……やめられない……！
こんなことをされたら……
ダメになっちゃう……
ハァァ…ッ！
あっ！
あっ
んあぁっ
はっ
どぴゅっ
ビュルッ
ビュルッ
ビュルッ
射精終わってくれない……!!すごいい……！
ハァァ――…ッ！
あァァ…ァァ…ッ！
あァァ…ァァ…ッ！
うはァァ…ッ！
びくっ
びくんっ
ぶぽぽっ…
啓司さんが言うように私は……マゾ女なのね
もう犯されたくてそれしか考えられない……
痙攣が…止まらなぁ……
ヒクッ
ヒクッ


マゾ怜香
今日はお前に
最後のチャンスを
くれてやろうか




え？
お前が今の生活を
維持したい
なら帰宅しろ


――啓司さんの
肉棒が味わえない
――もう
啓司さんに
気持ちよくして
もらえない


もし今後も俺に
依存したければ
これからも肉欲三昧だ。
後戻りはもうできない
どうする？
ドクン…
そんな……


――今の私にそれが
耐えられるはずがない
ニヤ
私は……

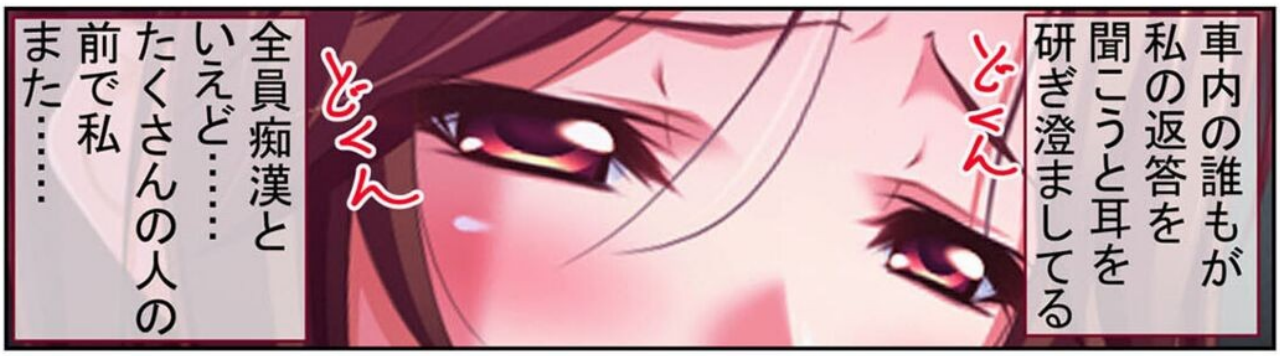

自ら彼の誘う
肉欲地獄への
切符を購入してしまった……


なんて不本意そうな顔だ
自分で望んだことじゃないか
ガタン
ゴトン
晒しモノにされれば不本意なのは当たり前でしょう!?
この一車両は痴漢連中のみ混雑で何が行われているか分からないだろうよ！
ザワ…


きゃっ！
その美麗なおっぱい美しいぜ…
充分に高嶺の花として男を惑わしていけるさ
——高嶺の…花…
ビリ
ビリッ
ビリッ
どさ…


お シミ跡が残っている
昨夜オナニーでもしたのか？
関係ないでしょう……！
じゅん…


否定出来ないところを見ると昨夜オナニーしたんだろ？
……ッ！
言っちゃえよああ？


車内の誰もが
私の返答を
聞こうと耳を
研ぎ澄ましてる
どくん
どくん
全員痴漢と
いえど……
たくさんの人の
前で私
また……


恥ずかしい
言葉を……!!
……はい
……しました
今日される事を
想像して……
おなにー……
しました……
おぉ…っ!
カママ
どくん
きゅんっ
どくん
ガクガク


欲求不満な
オナニー狂いマゾ女か
救いようがないな
ふる…
ホレ
おっぱいを
いやらしく
揉みほぐせ
や…
やだ……


拒否権があると
思っているのか?
やれ
さわ…
ん…
くはぁ…


はぁ…ん…
むに
ムギュッ


はぁ…ん…
むにっ
ふぅ……
こ、こう？
ああ悪くない
ぷるんっ
むちっ
ついでに濡れた下着も脱いじまえよ
パサッ
ひっ……
さあ……産まれたままの姿でもっと自分を卑猥に表現するんだ
んっ
むにっ
もっと詳細を言え
お、おっぱい…おっぱいが…乳首が…
ムニュ
ハァ…ハァ…、気持ちいいのオ…乳首…勃っちゃう
はぁ…、はぁ…ん…き、気持ちいい
気持ちいいです……ハァ、ハァン…
ぷるんっ
ここも……
ぬちゅっ…
くぱぁっ


啓司さんに命じられている訳じゃないのに……
私はとってもいやらしい女なんです
男の人の肉棒が無いと生きていけないんです
けれど私の口からは次々と淫猥な言葉が零れ落ちる
はぁ
ムニッ
ぬちゅ
くちゅっ
つぷっ
いよいよマゾ女としての本領発揮といったところだな……
ハァ…み、皆さん…お、奥まで見える…でしょうか？
はぁぁっ…
もっと広げますね…
とろぉっ
ひくっ
ひくっ
肉棒が、欲しくて…ひくひくしています……
くぱ…っ
ハァ…ハァ…今すぐに欲しい…欲しいんですぅ…
はぁっ…
ハァ…、はふぅん
はぁ
ずぷぷぷっ
あはァァ……！
んはぁぁ……！
ぬぷぷぷっ
ぐぷっ


俺が皆を代表して
おまちかねの
肉棒をつっこんでやったぞ
はぁぁ…んっ！
素敵い……
これが…この感触が
欲しかったのオ…！
ぐぷっ
ずんっ
はぁんっ
きゅっ
気持ちいいッ！
あッ！
んはァッ！
タップリと
中出しして
やるからなッ！
ぢゅっ
もっとして！
もっと深く！
突いてぇぇ…ッ！
ぬちゅっ
にゅぷっ
ぢゅぷんっ
ぷるんっ
あっ
ひっ


ひゃあああああァ…ッッ！
ドクドク入って
きちゃったァ…！
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビュルルルッ
はうぅッ！
あはァァ…ッ！
やぁぁんん…！
ドクッ
ビュルッ
あぁぁぁ……
おかしく
なっちゃうぅぅ……
まだまだだぜ
お前を肉欲地獄の
どん底に突き落としてやるからな


あれから……
私は毎日のように
啓司さんに
時には彼の
仲間の慰み者に
なっている……
今日は
公衆トイレの中……
あッ！　んあッ！
はァッ！　ハァッ！
またッ！またッ！
イクッ！
うッ！
うッ！　くふうッ！
ぬぷっ
ぬちゅっ
ズッ
ビクッ
このあとここに
俺の仲間たちが来る
治まらない興奮は
奴らに静めて
もらってくれ
どぴゅっ
びゅっ
はぁ……
啓司さん
いっちゃうのぉ……？
ああ精々奴らを
俺だと思って
精一杯
乱れるんだぞ
わかったぁ……
まってるから…
ぬぽっ…
ごぷっ
はあ♡
またいっぱい
イかせてぇ……
きもちいの
好きだけど……
けーじさんのが
いちばん
いいの……っ
怜香は可愛い
マゾ豚奴隷だな
股濡らして
待ってるがいいさ
はいっ……！
はあっ♡
ビクッ
ビクンッ


RIP-Comic
フルカラー
私のアソコに挿れて…？
義理娘からの逆寝取り！
熱々みるく注入中！


パ～パ♪
おっきくしてるね…
ストン
わたしにえっちなことしたい？
ふふっ♡
三咲がいるのにか？
…そんなこと言って本当はしたいんでしょ？
いいよして…
じゃあ口でしてくれ…
はぁん
はぁ
うんっいいよ♪
はぁ
はぁ


気持ちいい？
ああ
気持ちいいぞ…
本当に
俺のことが
好きなんだな
うんっ
大好き


だからもっと
気持ちよくなって…
美琴
パパだったら
なんでもできるから
はふ〜…


…ほう？
そうか……ならば
こんなことをしても
大丈夫だな？


ガシッ
ズブッ
ズブッ
んんっ…!?


んご…
…うんっ
おおおろろろ
ん♡
ん♡
ん♡
むせたらダメだろう
見つかったら
どうするんだ
ん♡
ぽん
ごぷっ
んが♡
ん♡
んはぁ…っ
けほけほっ
ぶー♡
あら？咳？
美琴
湯冷めしたんじゃない？
ごぷっ
ごぽっ
ごぽっ
ごぽ


ふー…
…だ
そうだ
それじゃ美琴
寝るとしようか
ガチャ
そんな…
パパっ！
ああ…
ダメ
眠れない
全部
パパのせいなんだから…


ゴソ
ゴソ
…ごめんね
パパ
でも
起・き・て♪
ちゅ♡
ちゅ♡
ちゅ♡
ちゅ♡
んんっ…!?
パパぁ…
はぁ♡
はぁ♡
えへへ
えっち…しよ
グッグッ
はぁ♡
はぁ♡
…分かっているのか
隣に三咲がいるんだぞ
だから
ママが起きない
ようにしよ?
うん
はぁ♡
はぁ♡
ビクッ
ビクッ
んんっ……!


はぁ♡
ぁんん
やっぱりパパの
最高だよぉ…
こんなに
おっきくてぇ…
太くてぇ……
動いていないのに
お腹がキュンッて
しちゃうぅ…
そんな状態で
声を抑えられるのか…？
うんん…んっ
んんっ……
いっ意地悪しないで…
声は
出したらダメだぞ

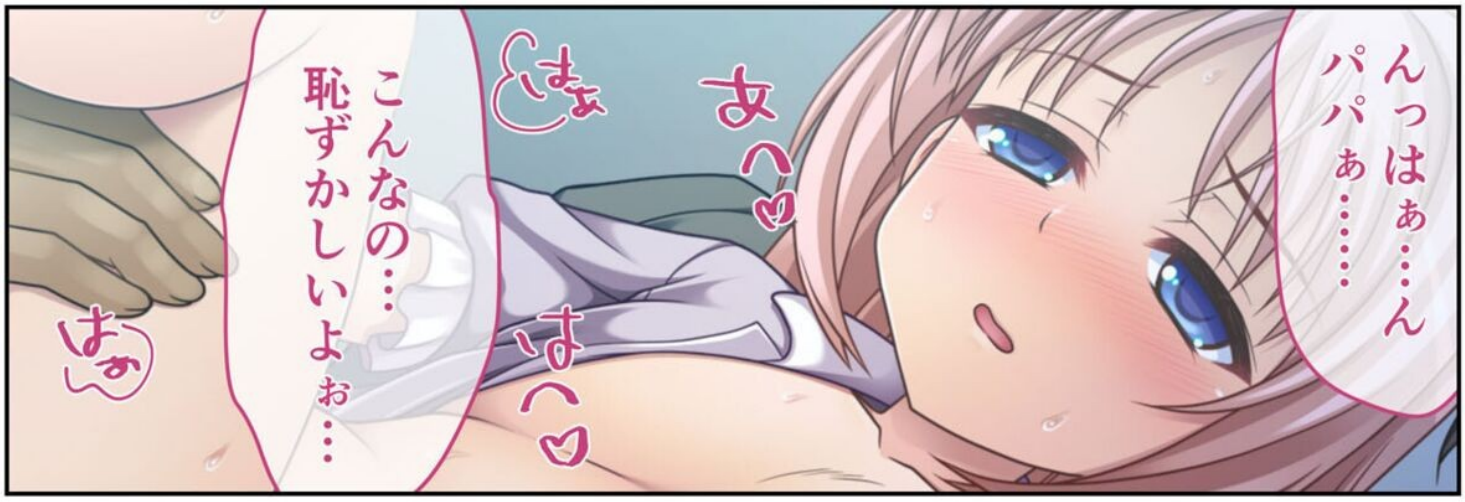

んうぅっ…!?
あむうぅぅぅっ…


いいぞ美琴
喘いだらダメだからな


パパぁだめぇ…
くふぅんんっ……!
みことぉ……んっ!
んっんむうううううううううううううううううううううううううううううううっ……!


はぁん…
パパぁ…
気持ちよかったよね…？
ママよりずっと
わたしの方が
よかったでしょ…？
ねぇパパ
わたしにしよ？
ママじゃなくて
わたしを見て…


ドクンッ
美琴…
俺はどうやら
まだらしい
鎮めさせてくれ


んっはぁ…ん
パパぁ……
こんなの…
恥ずかしいよぉ…


美琴は
俺を欲しているんじゃ
なかったのか？
そうだけどぉ…


そぉらっ…
んんうーっ!?


だめだめぇ…
声ぇ出るぅ…
ママにぃ
聞かれちゃうぅっ…


あぁっ…！
パパの意地悪ぅ…
大丈夫だろう
美琴なら
口をキュッと…
…おおっ
あうぅ…
いい締まりだな
美琴…
そらっ
あぁ…
パパのお
漏れてるぅ
いっぱい入れて
もらったのにぃ…
安心しろ
また入れてやる


ああぁっ…
んっ…!!
ぱくっ
ぱくっ
ぱくっ


もう…
抗えない…
…美琴
なぁに
パパ…？
いや……たしか
まだ言ってなかったと
思ってな…
うん？
美琴
愛してる…
うん！
わたしもだよ
拓也くん…
おなかの子より
愛してね…


RIP-Comic
フルカラー
弱みを握られ…
SEXビデオ…
犯された
美人処女
先生


ほおら
気持ちいい～
気持ちいい～
お尻が気持ちいい
奥を擦ってもらえて
気持ちいい～
はぐう
いい……いぎっ
気持ちいいのお…
ズク
ズク
はぁ
ぐぐんっ
ぽたたっ
キュン♪
―おっ？
エ○チなお汁
垂れてきたぞ


うぁっ押されてるぅ…
裏側からぁ…私の
エ○チなお肉ぅ…
いやっ……
あふれちゃう
あふれちゃうぅぅ…
エロ汁
垂らしまくって…
これじゃエロ蜜の
マーキングだ
もうダメぇ…
熱いのお……
身体あ熱くてぇ…
はんっ
あんっ
おぉっ
くりゅうっ
とろっ
とろぉ
ずりゅっ
あっ


ダッダメぇえ…
イクッ……
お尻で
気持ちよく
なっちゃうぅ…
イッちゃえ
イッちゃえっ
エロ顔
晒してみせろよっ
イッちゃう……うあっ
あっあぁぁぁぁぁあっ…!?
あはは…
茉奈ちゃん
だらしないねー
イクと同時かよっ
おしっこ
止まらないい…


ドサッ
びしょびしょだよ
茉奈ちゃん
ヒチャ
あぅ…
たら
たら
あ～
もぉ
やだ…
あ～見てたら
俺も小便したく
なっちまった
俺も～
ぬん
ジンジンジー
じゃあ…
あへ
ジョボボォォ
ジョォォォォ
てぇん
あはははは
これじゃ犬
っていうより
便器だなっ!!
――お義姉ちゃん…

違う
僕が知っている
お義姉ちゃんは

僕が大好きな
お義姉ちゃんは
あんな女性じゃない

もうこんなもの
見たくない…

それでもゲームは続き
色んなことをされている
お義姉ちゃんを見る度に
何もできない
自分が情けなくて

つらい…

もうこんな手紙
見たくないのに…



…え？

面白いもの、見たいだろ？
さあ、体育館へGO！


ガヤガヤ
なんだろう？
あそこでなにが…
ザワ
やあ
朝倉優斗くんだね
そっそうですけど…
先輩は……？
おいおい
気づかないのか…
え……？
ははっ
まあいいか
それじゃこっちだ
はぁ
あっ
はぁ
あんっ
あぁっ……いやぁ
そこダメぇっ…
はぁ
あぁぁ
あうっ
はぁ
しぁ
そっそんな……
そんなのって…
はぁ


うはっ…気持ちいい…
先生のいやらしい
ところがぼくに
絡みついてきてる
こっちもだ
お尻なのに…
キュッキュッて
扱いてきてる…
あっ
あんっ
んはっ
ずぼっ


茉奈ちゃん
お尻好きだもんねぇ
くう……
おっお尻って
こんなに気持ちいいんだ…
あんっ
くっ
あっ


いやぁ
お尻いゴリゴリ
しないでぇ
ゾクゾク
ゾクゾク
はぁっ


お腹ぁ…っ
擦らないでえぇ…
あっ
あはぁっ!?
ぐぐぐっ
スリスリ
きゅん


ふあああああっ!?
あぁっ
あんっ
びくっ
びくん
あはは
茉奈ちゃん……
もしかして
イッたんじゃない?
こっちも限界っ
グッ
アッ
ぐぷぅ
いやぁっ
膨らませないでぇ…
ビチュッ
おい
そろそろ
交替しろよ
っ……
あっあの先輩…
お義姉ちゃんを
解放して
もらえませんか?
おど
おど
たっぷりと
注いでやるよ
おらっ
デキちゃう……
私いっ受精しちゃうぅ…!!
ブビッ
ブビッ
はぁ
くうっ…
気持ちいいっ…
ビュッ
どぷっ
どぷっ
ビュー
はぁ
あぁ
ひぁっ
あぁ


は？
なに言ってんだ
お前
うぅ…怖いっ
はぁぐっ
んうっ…うっ…
あぐっ
お義姉ちゃんっ！
優斗くん
なぁにしようと
してんのかな
んあっ……!?
ぐぽっ
ぐぽぉ
あぁっ
今ぁっ優斗くんの声が…
私いついに幻聴までする
ようになっちゃったの…？
あはは
幻聴じゃないって…
よく見ろよ
茉奈ちゃん
ぢゅぽっ


嬉しいだろ？
愛しの義弟くんが
来てくれたぜ
そっそんな…
優斗くん……
どうして…っ
すぶっ
んぶうっ……
ろうひへ……ろうひへ
ほんなほほぉ…
おぶうっ!?
ぼっ
ぐぽっ
ボエッ
どうして？
決まってんじゃん
面白いからだよ
ぷるぷる
これで
ギャラリーも
揃った
お前ら遠慮なく
その女を犯せよ
イェーイ!!
もちろんですよっ
茉奈先生っ
アイツに見せつけて
やろうぜ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ

よぉく見てろよ
優斗くん

見たくないっ
こんなの
見たくない…っ!!

ごめんね…
優斗くん

私っ
お義姉ちゃん
まで失格…

こんなことになって
でも私……私ね…
優斗くんのこと…

おぐっ!?

はっっ

アッ

ボッ

あははっ……
残念だったね
茉奈ちゃん

びゅっ

びゅるるるるっ!!

ビュッ

やっやだ
やめてぇ…っ
ゆう優斗くん
見てるんだからぁ…

ぶぇっ

えぐっ

ドッ

ビッ

ドプッ

んぁあっ……はぁんっ!
んぢゅるうっ…
ふむうぅんっ!

…お
お義姉ちゃん


優斗くん
君のお義姉さんが
どんなにいやらしい
女なのかじっくり
見てくれよ
あんっ
ダメえっ…
とろけちゃうよぉ…
私のいやらしいところ全部
全部トロトロにいっ……!!
ビュルルルルル
はあああああああああ
あああああぁんっ…!!
あぁ…
も…もうっ
お願いですから
お義姉ちゃんを
解放してくださいい
もうっやめっ——
ガッ
——うるせえよっ…!


——んあぁ……
んうううう…
んんっ…
下からズンッズンッてぇ…
突き上げられるのぉ…
大好きぃ…
気がつくと
そこにいたのは
僕の知っている
お義姉ちゃんじゃなく
まったく別の
淫らな女の人だった——
ご主人様専用
正下


気持ちいいでしょ
茉奈ちゃん
ドロドロのエロ肉
擦られて
義弟くんにえっちい
ところ見られて
気持ちいい…
ひぃんっ
ひゃあんんっ……！
ねぇもっとぉ……
もっとちょうだい
まだぁ足りないのぉ…
正下


RIP-Comic
フルカラー
ヤれちゃう先生に
強制種付け！
～女教師の弱みを握ってやりたい放題～


玲子先生、入るよ
……っ！
そんなに緊張しなくてもいいよ、先生
今日は俺の友達の相談に乗ってほしいんだ
そ、相談……？どういうこと？
2人とも、入ってこいよ
せ、先生……ちっす
あ、あの……こ、こんにちは
加藤くんと小林くん……。そう、本当に相談なのね？
皆からはあまり好かれていないと思っていたけれど……嬉しいわ。何でも相談してちょうだい


ほら、先生に相談してみろよ
そ、その……先生、俺……
先生、俺っ
先生を見てるとムラムラして仕方がないんです！
……え？
ぼ、僕も、先生を見ていると、こ、股間が熱くなるんです……！


くくっ……2人とも、性欲が有り余って仕方がないそうなんですよ
先崎くん……貴方と言う人はっ！
え、えっと
そ、その……
くくっ。それじゃ、何でも相談に乗ってくれる玲子先生に、2人の悩みを解決してもらおうかな


仕方ない。俺も手伝ってやるかーーなっ！
きゃあっ！？


こんなもんじゃないぞ？
い、嫌、止めてっ――
あぐぅっ！？
違うでしょ？
ほら、挿れてくださいって
お尻を振って
おねだりしてみなよ
う、うぅ……加藤くん、
小林くん……
2人のペニス……
私に……い、挿れて……
ください……
んうぅっ……じゅぷ、
んっ、んんぅうっ……
んふ、んうっ……んっ、
んうっ……
グチュッ
グチュッ
う、うおぉっ……
す、すげぇっ、
これがセックスなのかっ
ジュプッ
ジュプッ
グチュッ
す、すごいっ……
お、お尻がこんなに
気持ちいいなんてっ……
んうぅっ、んっ、
んぷっ、んっ……
んうっ、んっ、
んんぅっ……
グチュッ
ちゅぱ
ちゅぱ
さて、と。
それじゃ、俺もそろそろ
楽しませてもらおうかな
んぐっ……！？
んうっ、んっ、んふっ…
んふっ、んうっ


じゅぶっ、じゅっ、
じゅぼっ、じゅぶっ！
んっ、んんうっ、
んんっ、んぐっ、
んぶっ、んぅー！
先生、ずいぶんと
気持ちよさそうだね。
こういうのも好きなんだ？
答える余裕はないか
ジュプッ
ジュプッ
グチュッ
ジュプッ


コンコン
青戸先生、
いらっしゃいますか？
ん、んうううっ……！？
――――っ！？
先生、
いらっしゃるんでしょう？
……大丈夫、
鍵はかけてるよ
ビクッ


その……昨日の事を
謝りたいんです。
開けてくれませんか
このまま、動くぞ
え、で、でも
だ、大丈夫なの……？
ジュプッ
ジュプッ


玲子先生は、今取り込み中でーす！
んんぅぅぅっ……！？
その声は……先崎くんか
玲子先生に解決してもらってまーす！
んふぅぅぅっ……！んふ、んんぅぅっ……！
なっ……なんだ、今の声は。青戸先生の声か？
ち、違いまーす！
い、いやしかし……
玲子先生も、邪魔されて怒ってますよー！
ジュプッ
グチュッ
青戸先生、一言だけで構いませんので、喋ってみてください
橘先生、いい加減にしてくださーい！
……わかった。お前達を信じるよ
それじゃ、青戸先生。また職員室で


普段はっ！　あんなに！
真面目ぶってるくせに！
無理矢理犯されて、
感じてるなんて！
んうぅっ、んっ、
んふっ、んううぅっ、
じゅぶ、じゅっ、
んんぅっ……！
ジュプッ
グチュッ
授業中にちょっと
ボケっとしてただけで！
偉そうに文句言いやがって！
この！　この！
んぶっ、んんぅっ、
じゅぶ、んっ、んんっ、
んんぅーっ！
このまま、中に
たっぷりと出してやるっ！
イヤらしいお尻に、
中出ししてやるからなっ！
んぐっ、んうっ、
んんぅーっ！　んぶっ、
じゅぶ、んうっ、んんぅーっ！
ぜクーン
ああ、ああっ……
止まらねえっ
ぼ、僕もっ……
凄い量が、
出てるぅっ……！
ほら、しっかり飲めっ
んぐうううっ……
ごく、ごくごくごく…
…ごく、ごくっ
それじゃ、この事は
秘密だからな
わかってるって
僕達だけの
秘密にするの？
そうだな……
今はまだ、な


先崎くん
ん？　何？
橋先生が呼んでるよ
橋先生が……？
了解
やあ、呼び出して済まないね
いえ。どうかしたんですか？
先崎くん、君が青戸先生に良くない事…いかがわしい事を強要しているという噂がある
……っ
えっとですねーー
橋先生……急にどうされたんですか？
そろそろいいか。
えっ……！？そ、そんな……嘘……ですよね、橋先生


へへ、嘘じゃないっすよ、玲子先生
い、嫌……嫌ぁ……橘先生、助けてっ……
……
どうもこうもあるか。ショックだよ
ショック？
ほら先生、もっとしっかり口を開けてよ
どうですか？橘先生。玲子先生の膣具合は
んぶっ……んぅ、じゅぶ、じゅっ……んんぅっ、んぶっ、んんぅっ……
本当に……本当に、こんな女だったなんてっ！
んんぅぅっ……！んぶ、んっ、んんぅっ……！
んぐっ、ぐぶっ、んぶっ……じゅぶっ、じゅっ……ぐぶ、んぅっ
ゲチュッ
ジュプッ


玲子先生、どうだい？
橘先生に犯されてる感触は
ずっと欲しかったんでしょ？
何？
どういう事なんだ？
玲子先生は、
橘先生の事が
好きだったんですよ
ねえ、そうだよね
玲子先生
んぶぅぅっ……！
んぐっ、んぶっ、
じゅぶっ、じゅっ……
んぐっ、んんぅっ……！
ほらほら、
ジュルジュル言ってるだけじゃ
わかんないって
いつか、好きですって
言いたかったんだろ？
精液臭いその口でさあ
ペニスにばっかりむしゃぶりついて、
肝心な事は何も言えなかったけどね
俺の事が好きなくせに……
生徒に股を開いたのか……！


んんぅうっ!?
じゅぶ、じゅっ、
んぅっ、んっ……
んくぅっ……!
こんなにっ、イヤらしい、
女だったなんてっ!
んうっ、んっ、んぐっ、
んうっ、んんぅっ……
んぶっ、じゅ、じゅぶっ、
んうっ、んんぅうっ……!
何人だっ!
何人の生徒を、
この股で咥え込んで
きたんだよっ!
くそっ、くそっ!
こんな女を
心配していたなんて、
自分が嫌になりそうだっ!
うるさいっ!
んぶっ、んうっ、じゅぶっ、
じゅっ……んふっ、んんぅっ、
んんぅうっ……!
もっと誠実な人だと
思っていたのに、
この淫乱女っ!
玲子先生、
フられちゃったね
へへっ。かわいそー
大丈夫だよ。
また誰にでも股を開いて
犯してもらえばいいじゃん
んぐっ、んうっ、んぶっ、
じゅぶっ、んんぅっ……
んぶっ、じゅっ、んうっ、
んふっ、んんぅっ……!


くそっ！
嬉しそうに締めつけやがってっ！
そんなに犯されて嬉しいのか！
そんなに精液が欲しいのか！
グチュッ
橘先生、
中に出しちゃっていいですよ
グチュッ
どうして、
こんな女に中出し
しなきゃいけないんだっ
グチュッ
俺は、外に出すぞっ
グチュッ
んぐっ、ぶっ、んぅっ、
じゅぶっ、んぅっ、
んんぅーっ！
んんぅうっーっ！
んぐっ、んぶっ、
んんぅうーっ！
んぐっ、んぶぅっ、
んんぅうっ、んんぅうーっ！
出るっ！
ジュプッ
ジュプッ
ジュプッ
ジュプッ
あ、あああああああああああああああああっ！
ピクン
ピクン
あ、ああっ……
熱い、熱いいっ……
あ、はあぁっ……！
はあ……はあ……
お願い、します……
もう……許して……
ください……
お願いします……
お願いします……
橘先生も、
一緒にお願いします
お、まだやんの？
それじゃ、
場所を交代しようか


玲子先生を犯し続けて、どれくらい経っただろうか。
気がつけば、外はもう夜になっている。
ほら、手を動かせって
んぐっ、じゅぶっ、じゅっ、じゅるっ、んぶっ、じゅっ、んんうっ
また気を失いそうだな
おい、そろそろ終わらないと見回りが始まるぞ
それじゃ、これで最後って事で
よし、イけそうだっ
こっちもだっ
くうっ、もう出すぞっ
ひあああああぁぁぁっ……！
その後、気絶してしまった玲子先生を放置して、俺達は見つからないように校舎を出たのだった。


それから。
橋先生の協力を得て俺――いや俺達の行為は、日に日にエスカレートしていった。
先生、今日は卒業式だから、卒業記念に犯しにきてあげたよ
――君は……
とっくに卒業式も終わったのに、どうしてこんな所に――ああ、コレか
玲子先生は全校の男性陣からの性処理用の肉便器として扱われるようになった。
最悪だな。他のトイレに行くか
あ、待ってください、橋先生
たちばな……せんせぇ……？
ん……？
たち……ばな……せんせぇ……ごめんなさい……わたしい……せんせぇのこと……ずっと……ずっと……
喋らないでくれるか。精液が飛んだら汚い
あはは……あは、あはははは……あはははははっ


お高い金髪JKに
電車で執拗に痴漢したら
発情したったw
いなり
美人留学生と
コスプレハメ放題えっち
RIP-Comic
フルカラー


安全を担保されている学園内で、あれだけ悶えていたんだ
もっと人目のあるところでヤったら…
ま、明日は休みだし。
週明けからいろいろヤり始めるとするか


―休日といっても、
誰かとの約束はないし、
何とはなしに
繁華街へ来てみた
wao!ケンタロウ
どうしてここに!?


つうかさ、こういう
バイトしてるのか?
アコガレのメイド喫茶
行ったら、ボシュウの
ハリガミがありました

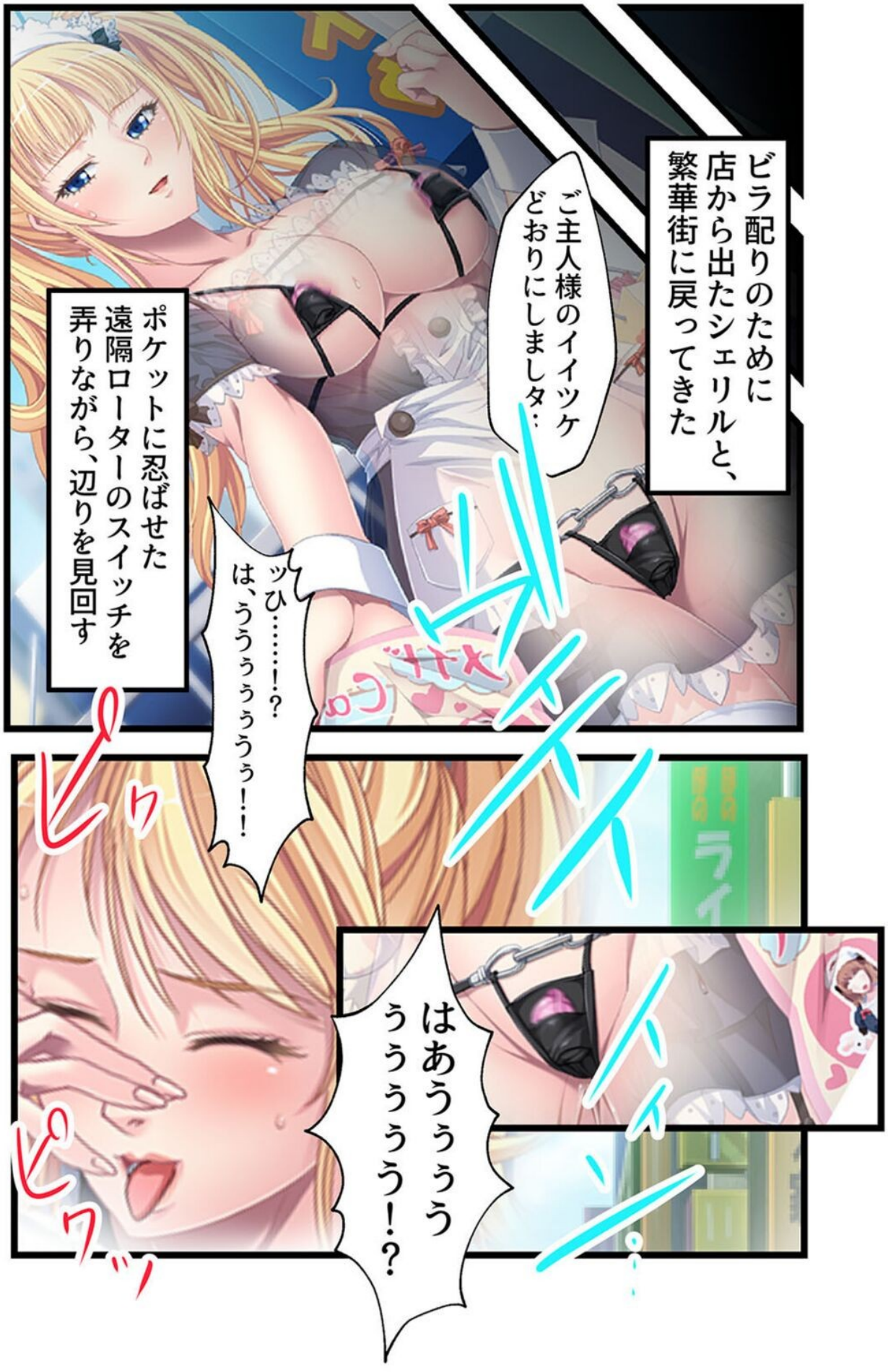

テンチョウサンに、
ハタラキタイですって
言ったら、ソクサイヨウ
してもらったのでス


シェリルならそうなるだろうな。
喉も渇いてるし、ちょうどいいか
来てくれるのですか！おみせは、こっちですヨー
ーふうん、なかなかいい店じゃないか
お帰りなさいませ、ご主人様


パフェが来るあいだ、あそびしますカ？
メイレー？
俺たちの間で“遊び”って…こういう事だろ？
ご主人、さまぁ…。バレちゃったらタイヘンなことに…ッ…
満足させるのが、メイドの務めだ。はやくしろ


お待たせしました、
メイドさんのふわふわ
ふるるんパフェでーす
そうそう、俺、
甘いもん苦手なんだよな
ボタッ
ボタッ
もったいないし
全部食っちまってくれよ


残したら、
お仕置き
だからな…ッ！
レロ
レロ
おいひい、
でス…


ビラ配りのために
店から出たシェリルと、
繁華街に戻ってきた
ご主人様のイイツケ
どおりにしましタ♪
ポケットに忍ばせた
遠隔ローターのスイッチを
弄りながら、辺りを見回す
ッひ……!?
は、ううぅぅぅぅ!!
はあうぅぅぅ
ぅぅぅぅぅ!?


ひ、はあぁあぁぁあ、だめ、こんなとこでえぇぇぇ……！！
ビクビクッ
——後になってシェリルから聞いた話だが、あの日はとても客入りが良かったそうだ
まあ、あの痴態を見て、雑居ビルに入っていった奴の数は両手じゃ足らなかったしな

なんだ……？
シェリルが連絡？
どうして……!?

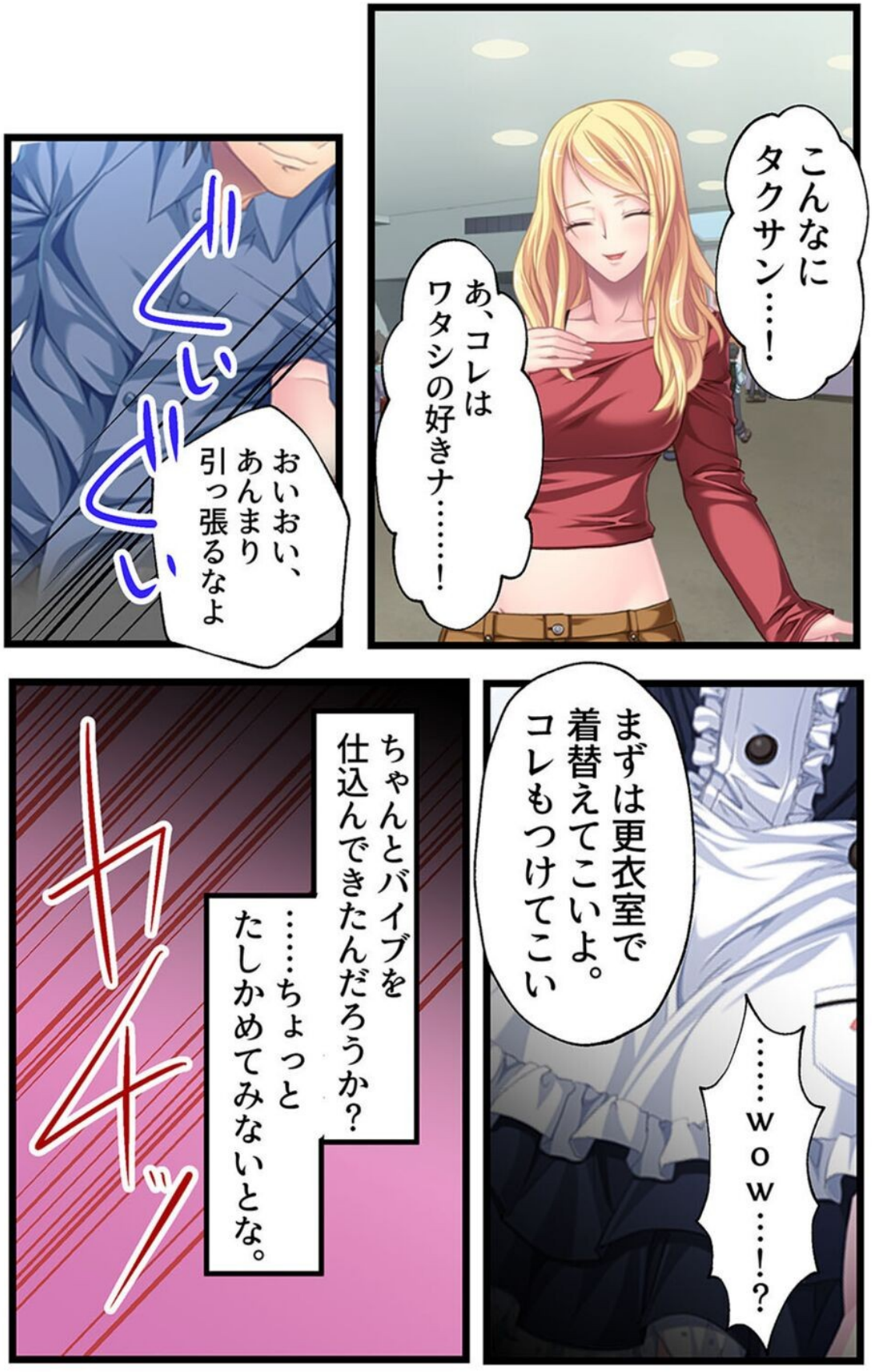
“Ｈｉ!ケンタロウ、このあいだはドキドキしたね☆
今週の日曜日ドウジンシソクバイカイが
あるのしってる？予定がなかったら、
つれていってホシイナ……”

あのメイド姿、
よかったよな……。

コスプレ可能な
イベントだし、
アリか？

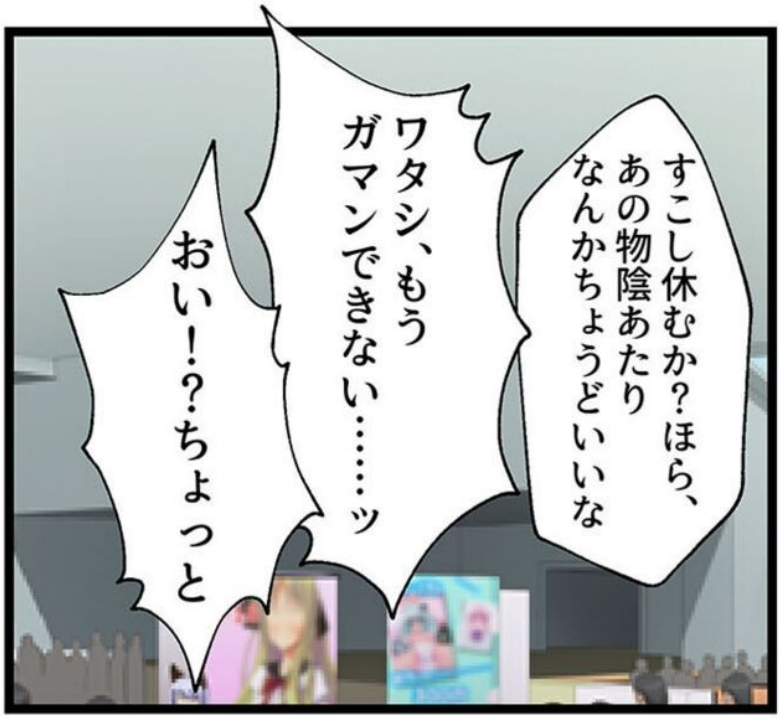
ま、とりあえず
聞くだけ聞いてみるか

ｍａｒｖｅｌｏｕｓ！
これがゆめにまで
みたソクバイカイ…！


こんなに
タクサン…！
あ、コレは
ワタシの好きナ……！
くいくい
おいおい、
あんまり
引っ張るなよ
まずは更衣室で
着替えてこいよ。
コレもつけてこい
……ｗｏｗ…！？
ちゃんとバイブを
仕込んできたんだろうか？
……ちょっと
たしかめてみないとな。
ナイッ


あっ♡
あぁん♡
あ、ああ……ッ。
ケンタロウッ
こんなとこデ…
ほら、行きたいところに
行っていいぞ？
俺はじゅうぶん
楽しいからな
んあぁっ
も、ゆるひて、
ゆるひて……？

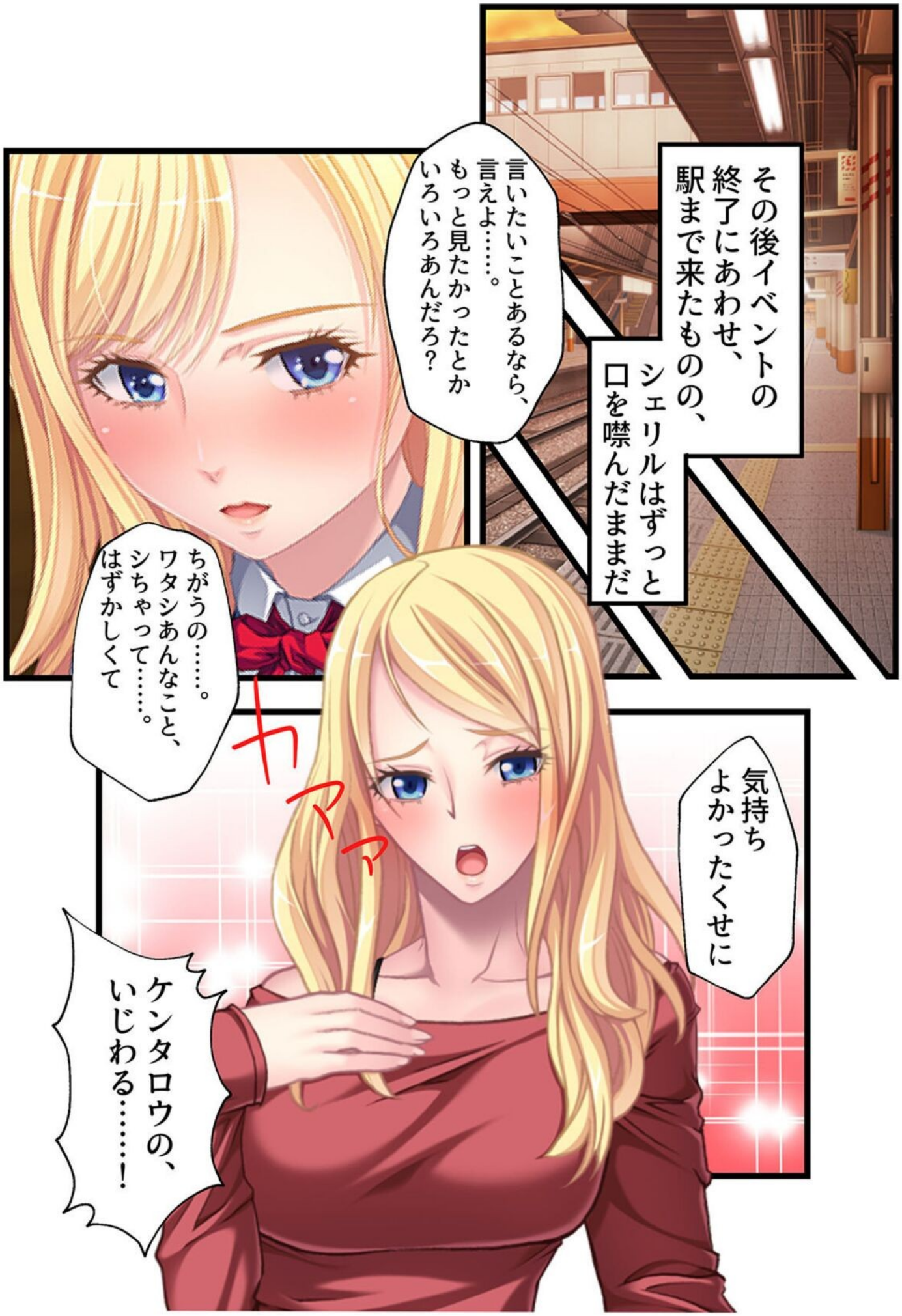

ケンタロウ…
…ワタシ、もう


すこし休むか？ほら、
あの物陰あたり
なんかちょうどいいな
ワタシ、もう
ガマンできない……ッ
おい！？ちょっと


ちょうだい……？
ここで、
いますぐ…ネ…？
さぁ……
そんなに
欲しけりゃ自分で
ぶち込んでみろよ
ピトッ


ひゃうぅ…
はひ、はひッて
りゅうぅぅ……！
ズプププ


ケンタロウを
感じてると、ワタシ、
ワタシいいいいい…！
あんあんっ♥
ふぁあん♥
HENTAIセックス
すき、すき、
らいすきいいいい！
はあああああ…！
すきだよぉ、
ケンタロウ……！
ピュピュッ


その後イベントの終了にあわせ、駅まで来たものの、シェリルはずっと口を噤んだままだ
言いたいことあるなら、言えよ……。もっと見たかったとかいろいろあんだろ？
ちがうの……。ワタシあんなこと、シちゃって……。はずかしくて
カアァ
気持ちよかったくせに
ケンタロウの、いじわる……！


あれから時々、
すれ違いみたいな
ものがあっても、
俺たちの関係は
変わらないままだ
んぷぷぅ
ずっと、ずっと
ヤろうね？
もう、HENTAIに
なっちゃって…
もどれない、からネ？

RIP-Comic

©アンモライト
©アパダッシュ
©アパタイト
©アメノムラクモ